

講座の実施概要

(1)実施日及び時間

令和8年6月18日（木）14:35～15:25（6時間目）

(2)対象者

安芸太田町立安芸太田中学校（1～3年生49名+教員10名）

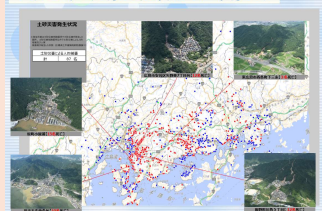
(3)説明者

西部建設事務所安芸太田支所

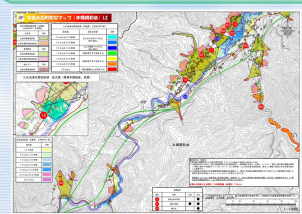
(4)講座内容

- ・土砂災害及び情報収集、避難行動に関する講義
- ・非常持出品についての演習
- ・ハザードマップの演習
- ・模型を用いた土砂災害の仕組みや対策工の学習

平成30年7月豪雨災害(西日本豪雨)



① 危ない場所を知る ～ハザードマップ～



② 情報を集める～インターネットを通じて～



- ・講義では土砂災害や情報収集、避難の重要性などについて学習した。
- ・安芸太田町作成のハザードマップにより、自宅と近傍の避難場所の把握を行った。
- ・模型を使って土石流・がけ崩れの仕組みや対策工について学習した。

実施状況写真

講義



ハザードマップ演習



非常持出品演習



模型学習



生徒の感想

- ・私は小学校の時も土砂災害や崖崩れを学んだけど、それよりも詳しく、模型などを使って教えてくれたのでよく分かりました。
- ・土砂災害が広島に多いことを初めて知り、もっともしもの時の準備をしないとないと思いました。
- ・家に帰って土砂災害がきた時に家の中で一番安全なところ（山から遠く、高いところ）を確認したいと思った。
- ・災害の時に備えて、何を準備すればいいか知れたので、早めに家族と確認して準備したい。